

平成27年3月7日

平成26年度総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類 (該当に○)	○海外共同 ・ 共同研究 ・ 個人研究	
研究代表者氏名 所属職名	遠藤 耕太郎 文芸学部教授	
研究課題名	中国少数民族ナシ族の序詞「ゼンジュ」の研究	
研究分担者氏名	所属職名	役割分担
岡部 隆志 張 正軍	文科教授 中国寧波大学教授	ゼンジュと古代日本の詩的技法 ゼンジュと古代中国の詩的技法
研究期間	平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日	
<p>海外共同研究を実施することになった経緯 (海外共同のみ)</p> <p>2013年8月に、遠藤、岡部、張は、中国雲南省麗江で、ナシ族の歌い手への聞き書きを含めたナシ族歌謡の調査を行った。その結果、ナシ族歌謡には「ゼンジュ」という、古代日本の和歌の修辭と非常に近いものがあることが分かった。また、それは中国の韻文の修辭の、特に「興」に近いこと、また現地の宗教者トンパ、ダパの經典の唱え方との類似性も確認できた。そこで、「ゼンジュ」という修辭をキーワードとして、東アジアの歌世界のかかわりについて研究する必要があることが確認され、貴研究所に海外共同研究課題として申請した次第である。</p>		
<p>研究発表(印刷中も含む)雑誌および図書</p> <p>○遠藤耕太郎・張正軍「モソ人の病祓いの儀礼について」(アジア民族文化学会主催シンポジウム「病と祓」での口頭発表 平成26年12月13日 於上智大学四谷キャンパス)</p> <p>○遠藤耕太郎「東アジアの歌の序詞的発想法—中国少数民族ナシ族の「ゼンジュ」と序詞—」(日本歌謡学会『日本歌謡研究』第54号・平成26年12月)</p> <p>○遠藤耕太郎「モソ人の病祓い儀礼「ニャムチ」の実際と考察」(アジア民族文化学会『アジア民族文化研究』14号・平成27年3月)</p> <p>○張正軍「モソ人の病祓いの儀礼について」(アジア民族文化学会『アジア民族文化研究』14号・平成27年3月)</p>		

研究実績の概要（1）

【現地調査の概要】

- 2014年8月19日 中国雲南省寧ラン県ワラビ村にて調査（モソ人の病祓儀礼と呪文について、アウオ＝トディに聞き書き）
- 2014年8月21日 中国雲南省麗江市トンパ文化研究院にて調査（和学先・和継軍他の歌い手による実演と聞き書き）
- 2014年8月22日 中国雲南省麗江市トンパ文化研究院にて調査（和学先・和国偉他の歌い手による実演と聞き書き）
- 2014年8月23日 中国雲南省麗江市トンパ文化研究院にて調査（同文化館研究員和虹氏との討論）

【シンポジウムの概要】

2014年12月13日 アジア民族文化学会主催シンポジウム「病と祓」於上智大学四谷キャンパス
モソ人の呪的宗教者ダパであるアウオ＝トディ、通訳アウオ＝ジパ、張正軍を招聘し、遠藤、張が口頭発表を行い、アウオ＝トディに病祓いの儀礼を実演してもらった。

【国内研究の概要】

- 2014年4月26日 研究会 於共立女子大学 1428 演習室
- 2014年5月31日 研究会 於共立女子大学 1428 演習室
- 2014年6月22日 研究会 於共立女子大学 1428 演習室
- 2014年7月20日 研究会 於共立女子大学 1428 演習室
- 2014年9月20日 研究会 於共立女子大学 1428 演習室
- 2014年11月2日 研究会 於共立女子大学 1428 演習室
- 2012年12月12日、14日 研究会 於グランドパレスホテル
- 2015年1月31日 研究会 於共立女子大学 1428 演習室
- 2015年2月21日 研究会 於共立女子大学 1428 演習室
- 2015年3月21日 研究会 於共立女子大学 1428 演習室

【刊行物の概要】

- 遠藤耕太郎「東アジアの歌の序詞的発想法—中国少数民族ナシ族の「ゼンジュ」と序詞—」（日本歌謡学会『日本歌謡研究』第54号・平成26年12月）
ゼンジュという技法は、前句が後句の比喩であり、前句が想起させる生活に根差した景物の奥深い意味が、同音の繰り返しによって主想を導くという、比喩と音における両句の調和を追求する技法である。前句の景物は、特にその歌謡が歌われる空間の性質に合ったものでなくてはならず、身体的に獲得された歌の技がそれを可能にしている。こうした歌の技としてのゼンジュは、ナシ族に限らず、周辺の多くの少数民族のさまざまな修辭と同じく、それが声によって歌われるなかで追求されてきたものであることを指摘した。
- 遠藤耕太郎「モソ人の病祓い儀礼「ニャムチ」の実際と考察」（アジア民族文化学会『アジア民族文化研究』14号・平成27年3月）
モソ人のニャムチ儀礼を、1998年の記録を中心に紹介。その基底に、中国の道教や巫、さら

に古代日本の大祓や陰陽道に通じるアニミズム的発想があることを指摘した。ゼンジュとの直接的な関係はないが、ゼンジュが自然（景物）と人事（主想）の調和を追求する技法であることと、アニミズム的発想は切り離して考えることはできない。

○張正軍「モソ人の病祓いの儀礼について」（アジア民族文化学会『アジア民族文化研究』14号・平成27年3月）

モソ人のニャムチ儀礼を、その他の鬼祓い儀礼のなかに位置づけて紹介したもの。病だけでなく、さまざまな感情や行動（たとえば争いを起こさせるなど）を、彼らは鬼の仕業と見ており、だからそれを祓うことができる。ゼンジュはその場に合った景物が選ばれるが、そこには鬼への恐怖が働いている。